

## 当社福島第一原子力発電所における核種分析結果の速報版について（11月1日～11月15日公表分）

- <凡例>   －：主要3核種（I-131,Cs-134,Cs-137）以外にγ核種の検出なし ⇒ 主要3核種の結果については速報版をご覧ください  
           ○：主要3核種（I-131,Cs-134,Cs-137）以外にγ核種の検出あり ⇒ 次頁以降をご覧ください  
           ／：採取対象外もしくは悪天候等により採取中止

サンプリング箇所	速報版公表日															
	11月															
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	
発電所敷地内における空气中放射性物質の核種分析結果	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	／
発電所敷地海側における空气中放射性物質の核種分析結果	－	／	／	／	／	／	／	－	／	／	／	／	／	／	－	／
海水核種分析結果<沿岸>	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	／
海水核種分析結果<茨城県沖合>	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	－	／	／	／	／
港湾内 海水核種分析結果	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	／
サブドレン等核種分析結果	／	－	／	／	－	／	－	／	－	／	／	－	／	－	／	／
集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	／
福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	－	／
福島第一原子力発電所 1号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	－	／
福島第一原子力発電所 2号機原子炉建屋排気設備における空气中放射性物質の核種分析結果	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	○	／	／

【確報版】福島第一原子力発電所 2号機原子炉建屋排気設備における空气中放射性物質の核種分析結果<1/1>

採取場所	2号機R/B排気設備 (排気フィルタ入口)		2号機R/B排気設備 (排気フィルタ出口)				②炉規則告示濃度 限度(Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線業務従事者 の呼吸する空气中 の濃度限度)
	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	
試料採取日 時刻	平成25年11月8日 11時10分～ 平成25年11月8日 13時09分		平成25年11月8日 11時08分～ 平成25年11月8日 13時08分				
検出核種 (半減期)							
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-			1E-03
Cs-134 (約2年)	2.9E-05	0.01	ND	-			2E-03
Cs-137 (約30年)	6.0E-05	0.02	ND	-			3E-03
Mn-54 (約310日)	ND	-	ND	-			2E-02
Co-60 (約5年)	ND	-	ND	-			1E-03
Nb-95 (約35日)	ND	-	ND	-			2E-02
Tc-99m (約6時間)	ND	-	ND	-			7E-01
Ru-106 (約370日)	ND	-	ND	-			6E-04
Ag-110m (約250日)	ND	-	ND	-			3E-03
Sb-125 (約3年)	2.0E-06	0.00	ND	-			6E-03
Te-129 (約70分)	ND	-	ND	-			4E-01
Te-129m (約34日)	ND	-	ND	-			4E-03
I-132 (約2時間)	ND	-	ND	-			7E-02
Te-132 (約78時間)	ND	-	ND	-			4E-03
I-133 (約21時間)	ND	-	ND	-			5E-03
Cs-136 (約13日)	ND	-	ND	-			1E-02
Ba-140 (約13日)	ND	-	ND	-			1E-02
La-140 (約40時間)	ND	-	ND	-			1E-02

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

※ O.OE-Oとは、O.O×10<sup>-O</sup>と同じ意味である。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

2号機原子炉建屋排気設備(排気フィルタ入口)における検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約2E-7Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約4E-7Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約6E-7Bq/cm<sup>3</sup>。

粒子状のI-131が約4E-7Bq/cm<sup>3</sup>。

2号機原子炉建屋排気設備(排気フィルタ出口)における検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約2E-7Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約4E-7Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約6E-7Bq/cm<sup>3</sup>。

粒子状のI-131が約1E-7Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約2E-7Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約3E-7Bq/cm<sup>3</sup>。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。